

令和4年度研究科入学者選抜試験（第3次募集）出題意図  
《医学系研究科 看護学専攻・博士前期課程》

〔英語〕

・医療・看護学分野の英文を読み、英文法を理解した正確な読解力と大意を把握する能力など看護学専攻大学院生として必要な英語力と基礎的学力の程度を確認することを意図として出題した。

解答例

問1 評価は、クライアントとの精神的な議論を引き出す方法論的なものやツールよりも重要な、実行された接続性で進む必要があります。「患者が自分の精神性を表現しやすくする」努力を採用する必要があります。エリオットはまた、患者が自分の精神性を記述するためにオープンエンドの比喩的な方法で話すことを思い出させました。

問2 スピリチュアリティの評価中に発生する「妄想」という言葉の使用による「バイアス問題」の事

問3 スピリチュアリティの評価は、より個別化された治療計画の作成に役立つ可能性があり、その情報は心理療法的介入に役立ったという彼らの調査結果のこと

問4 ラファファイは、ツール設計に関連する制限のリストを表現しています。それらは一般病院の病棟でモデル化され、その結果についての証拠の欠如と不十分な指導のために精神科患者では検証されない。使用を採用する場合、クライアントのコンテキストとニーズに適応する必要があります。

問5 1) O、 2) O、 3) O、 4) X、 5) X